

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月2日
派遣決定番号 [REDACTED]
報告回数 3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	砥部町教育委員会	代表者名	大江 章吾
担当者部署	学校教育課	連絡先電話番号	089-962-4820
担当者役職	主事	担当者氏名	坪内 舜
住所	791-2120 愛媛県砥部町宮内1369番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大辻 雄介
評価	よい

上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	
---------------------------------	--

アドバイザーへの要望事項	
--------------	--

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年10月7日	講演	有	令和4年11月10日	371
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和4年11月25日	講演	15時30分	16時30分	0
				活動時間 (分)	60

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 教育委員会職員、教職員	人数 11人
----------------	--	-----------

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	遠隔授業に関して、教育委員会と学校側の意識共有ができていなかった。 イメージがつかず、教職員へ意見等を求めても反応が薄い。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	実際に行う教職員の意見を多く取り入れて事業を進めたいため、遠隔授業を実施方法についてのイメージを固めてもらい、工夫や提案等をより協議できるようにしたい。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーの行ってきた実例等を受けてディスカッションを交えながら講演を行った。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	事前募集した質問は少なかったが、今回の講演中のディスカッションは活発に行われた。教育委員会と学校側の実施における意識共有が図れた。

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	備品等の環境に関しては問題ないと思われる。再度、教職員と実施方法についての検討が必要になる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 協議会に近いカタチのため行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



